広報やわた

第349号
平成4年 1992年 9月

発行 八幡市役所
京都府八幡市八幡園内75
電話 (075)983-1111
編集 企画部秘書広報課

人口 7万6109人 (前月より7人減)
1992年・平成4年8月1日
男：3万7827人 女：3万8282人
世帯 2万4975世帯
動き (7月分) ・出生 76人・死亡 21人 ・転入 282人・転出 344人

正しくあわてず119番

9月9日は「救急の日」です。私たちの命を守るための救急活動。救急車を呼ぶときは正しくあわてずに。また、不用不急の場合は、要請しないようにしましょう。

観光ナシ狩りオープン
秋の味覚をもぎとり

自然を満喫しながら、秋の味覚ナシが食べ放題――八幡の秋の風物詩、川口地区の〝ナシ狩り〟が8月17日にオープン。開園式には、招待されたくすのきとみやこ保育園の園児40人らが、テープカットで開園を祝ったあと、さっそくナシ園に入り、もぎたてのみずみずしいナシに舌つづみを打ちました。

市内には、42戸の農家が約10ヘクタールでナシを栽培。石井早生や新世紀、20世紀、長十郎のほか、豊水や幸水、新興などの新品種が年間約200トン収穫されています。ナシ狩りは昭和39年に府下で最初に開園され、現在、10農家が約3ヘクタールのナシ園を開放。秋の味覚を求めて、毎年、京阪神から家族連れやサークルなど約1万2千人が訪れ、八幡の観光の目玉のひとつとなっています。

今年の出来は、適度の雨量で玉太りも良く、甘さも十分とのこと。初秋を伝える新鮮な甘さと香り、もぎ取って、その場で食べるナシの味わいは格別。9月20日まで開園されています。みなさんもご家族で、一度訪れてみてはいかがですか。

ZOOM IN

市内第2の特養ホーム来春4月開設

京都ひまわり園
在宅高齢者施設も併設
特養施設 ゴールドプラン早くも達成

在宅介護支援センターとデイ・サービスセンターを併設した市内第2の特別養護老人ホーム京都ひまわり園の建設が8月21日に着工。来春4月には、またひとつ、高齢者福祉の拠点が市内に誕生します。同園の開設で、国が策定した21世紀までに整備すべき高齢者福祉サービス「ゴールドプラン」の特養施設の目標が、本市では、早くも達成を見ることになります。

来春4月、社会福祉法人・秀孝会（林泰理事長）が、市道西山下奈良線沿いの八幡清水井に開設する特別養護老人ホーム京都ひまわり園は、これら要介護高齢者のための施設福祉と在宅福祉サービスの機能を兼ね備えた施設です。

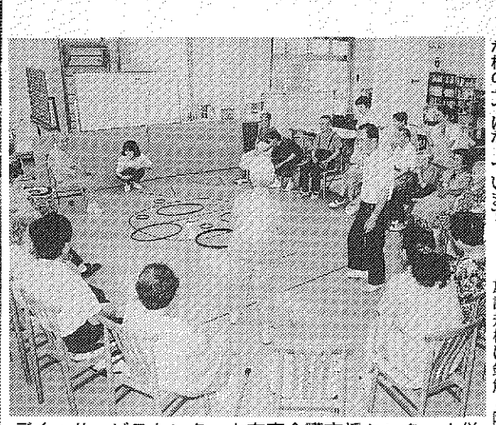
施設規模は鉄筋3階建で、延床面積2558平方メートル。居室のほか、機能回復訓練室、医務室、介護者教室、特別浴室、相談室、展示室などが設けられます。

65歳以上で身体または精神に著しい障害があるために、常時介護を必要とするお年寄りが入所の対象となり、入所定員は50人。また、一般入所のほか、介護者の都合などにより、在宅の寝たきりのお年寄りらが短期間入所できるショートステイも8床設けられます。

これら介護施設としての機能に加え、専門員が24時間体制で介護法やホームヘルパーの派遣など、保健、福祉全般に関する相談に応じる在宅介護支援センターと、通所して昼間ゆっくりと入浴や食事、ゲームなどを楽しむことができるデイ・サービスセンターも市の委託施設として併設され、既設の京都八勝館と同様、在宅福祉サービスの拠点としての役割も担っていくことになります。

同園の開設で、八勝館の定員と合わせた市内の特養施設の入所定員は120人となり、厚生省が将来の超高齢化社会を見据えて、平成11年までに整備すべき公共サービスとして策定した「高齢者保健福祉推進10カ年計画（ゴールドプラン）」の目標に、人口規模の換算では、本市で早くも達成することになります。

建設整備費は約8億8200万円で、うち約3億9700万円が国と府から補助され、市でも施設の公益性と役割の重要性を考慮して2億2000万円を補助することにしています。



デイ・サービスセンターと在宅介護支援センターも併設されます（写真は京都八勝館のデイ・サービス事業）

人生80年時代。社会の高齢化が進む一方、寝たきりや体に障害を持つお年寄りも増えています。体の不自由なお年寄りや介護に当たる家族の方が、住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりが、高齢化社会への対応策の重要な柱の一つになっています。

勤め帰りに市政に参加
対話深めた〝納涼相談〟

市長をはじめ、助役、収入役、部課長らが、市民のみなさんからの行政に関する意見や要望に、直接こたえる「納涼市民相談」を、今年も8月20日、21日、24日の3日間、それぞれ八幡市駅前、四区公会堂前、男山中央センターで開きました。

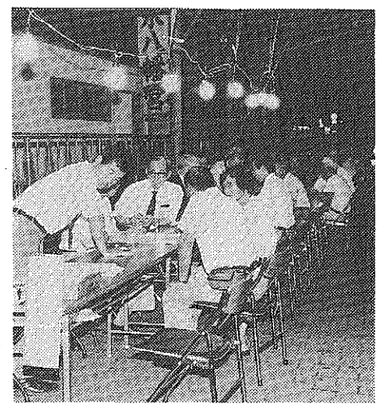
納涼相談は、市民参加の自治を進める一環として、日ごろ市役所へ訪れる機会の少ない市民のみなさんとも対話の機会を設けようと、昭和44年から実施しているもので、ちょうちんと裸電球の下、気軽に市長や担当部課長に相談ができるとあって、毎年、通勤帰りの方たちが多数利用されています。

3会場で出された意見や要望、苦情などは34件（八幡市駅前7件、四区公会堂前14件、男山中央センター5件）で、身近な問題から市政全般にわたることまで、幅広い内容の相談が寄せられました。

3会場で出された主な相談内容は、次のとおりです。

《八幡市駅前》 ▽側溝ごみの除去 ▽市職員採用 ▽下水道の整備 ▽青少年の生活指導 ▽暴走族の取り締まりなど。《四区公会堂前》 ▽駅前整備 ▽児童公園の管理 ▽薬剤散布 ▽市役所出張窓口の開設など。《中央センター》 ▽道路街灯 ▽空き地の除草など。

これらの相談には、その場で回答できるものは即答し、また、調査や関係機関と協議しなければならないものについては、後日、回答することにしており、これら貴重なご意見やご要望は、これからのまちづくりに反映していくことにしています。



まちづくりは対話から生まれます

散乱ごみをまちから一掃
9/23(祝) 〝まちかどのごみゼロの日〟

昨年の「ゼロの日」で

快適で住みよい環境を市民ぐるみで築いていくことを目指して、今年も「環境衛生週間」前日の9月23日（祝）を〝まちかどのごみゼロの日〟とし、午前9時から11時まで、市内の散乱ごみを一掃するクリーン運動に取り組みます。

この運動は、実行委員である市内約60の団体のみなさんをはじめ、市民みんなで、各家庭の周辺から公共空間である駅前や道路、河川、公園など、市内全域の散乱ごみを一掃しようとするものです。

ごみは、私たちが日常生活を営む中で必ず排出されるものですが、その量は、生活様式の変化などから、年々増え続けています。また、家庭から生まれるごみの増加に伴って、処理のルールを守らずに道路や川に不用意に捨てられるごみも増えてきています。

まちから散乱ごみを無くすためには、「捨てない」「拾う」という行動とともに、一人ひとりが環境美化に対する気配りをもち、ごみの減量と再利用をはかるなど、まずごみを「つくらない」ことが大切です。

〝まちかどのごみゼロの日〟運動を契機に、みなさんのご協力をお願いします。

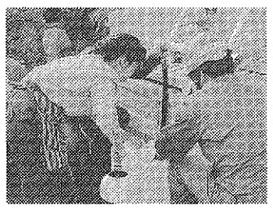
一人暮らしのお年寄りらが「福寿会」を発足

市内に住む70歳以上の一人暮らしのお年寄りらによるサークル「福寿会」が、このたび発足されました。

同会は、市社会福祉協議会が開いていた「料理教室」の参加者らが中心となって、お年寄りらの活動の場を広げ、日常の悩みや問題を一人悩むことなく励ましあって解決していこうと、昨年5月から設立の準備を進めていたものです。

7月27日、文化センターで開かれた設立総会には、入会申し込みのあった90人のうち60人が参加。会則や事業計画が決められ、初代の会長に八田照雄さんが選任されました。主な活動として、健康教室や料理教室＝写真、日帰り旅行、会報の発行などに取り組み、会員さんたちは「気軽に楽しめるサークルにしていきたい」と、抱負を話されていました。

水道災害に応援協定
府と南部市町がスクラム



▶給水活動などで相互応援

大規模な水道災害が発生したとき、応急給水と施設の復旧が速やかにはかれるように、京都府（府営水道）と八幡市を含む南部の5市5町とが8月1日、「水道災害相互応援協定」を締結しました。

この協定は今年4月、本市内で大規模な水道事故が発生し、長時間、広範囲にわたる断水が発生したのを教訓に、自治体間で的確な応援体制を確立していこうと、結ばれたもので、相互応援の内容は、職員の派遣、水道管などの資器材の提供、給水車の提供などです。

従来から、近隣市町間での相互応援は行われていましたが、4月の事故のように発生が職員の執務時間外であったり、休日の場合は、連絡に時間を要したり、提供できる資器材が十分整理されていないなど、円滑な相互応援が困難なこともありました。

協定では、これらの点を解消するため、連絡先や資器材を常に整理し、要請に対し、すぐに対応ができるように、体制を整備しました。

市では、府南部での応援協定のほか、隣接する枚方市とも相互協力の協定締結に向けた協議も進めており、また、これら事故発生時での対策に加えて、市内の配水池系統間の相互補給など、ハード面での改善のほか、水道事故を想定した大規模な給水対策訓練（3面に関連記事）を実施するなど、生活に欠くことができない〝水〟の安定供給に努めています。

社協会長に家村氏就任

7月28日に開かれた八幡市社会福祉協議会理事会で、退任された中嶋芳造前会長の後任として、家村舞氏（前副会長、八幡吉野3）が会長に、また、副会長の後任に山田守氏（前理事、八幡軸68－6）がそれぞれ選出されました。

市長の手帳から

ミン・ミン・ミン・ミン・ミンとハミングで演奏する一団もあれば、シュ・シュ・シュ・シュと切ないばかりの息づかいで合唱する一群もいる。ミーン・ミン・ミンという、のども張り裂けんばかりの絶唱のあとには、ツクツクボーシと、ツクツクボーシと、これはまた至極落ち着いたメロディの独唱がつづく。

人間たちの今年の夏は、バルセロナで燃えに燃えたが、ニューヨークではキリギリスが鳴かず、東京ではセミの声がしないということで、虫たちの異常な〝沈黙の夏〟が大変気になっていたところ、八月も下旬、二十二日の朝に至って、男山を舞台にして、いっせいに沸き起こった蝉時雨（せみしぐれ）の大合唱を心ゆくまで聞くことができた。これで今年の夏を心おきなく送ることができる――そんな思いがしきりである。

ただ一途（いちず）四十二℃をひた走る君の刻苦をわが日常とせむ

唇（くち）噛みて天を仰ぎて眼を閉じぬ跳躍寸前にいる君の眩（まぶ）しさ

あどけなき十四歳の金岩崎の金メダルの金は純金の金

せみしぐれ追いつつゆかむ

せみしぐれ谷びつつゆかむ

男山ゆかむ

アメリカの青年教師のハシつかう姿に馴染みて市役所の夏

そんな今年の夏のなかに、八幡市では外国からやってきた二人の青年の夏がある。

一人は中国陝西省の宝鶏市の職員である任遠（にんえん）君で二十八歳。六月から一年間、研修生として日本の自治行政をみっちり勉強するのが目的で、はやばやとワープロをものにして、日本語のレポートを、ものの見事に綴ってみせてくれている。

もう一人は、アメリカはミズーリ州出身のスウィハート君で、こちらは二十三歳。市内の中学生の諸君に生きた英会話を体験してもらうために指導員として招いたもの。

どちらも市内に住み、自転車で通勤している毎日で、朝市役所のアプローチで二人に出会うのが楽しみである。

食堂でもよくいっしょになる。任遠君が何を食べても不思議ではないが、スウィハート君が、カレーライスを一度に二皿も注文して、またたく間に平らげてしまったのは驚きだった。聞けば、お米は日本へきて初めて食べたということで、まだひと月にもならないのに、ハシの使い方も堂に入ったものである。

人種や国籍に関係なく、人間は人間であり、生活文化は共有できる――異国にいる感じの全くない、のびのびとした二人の青年の姿を見るたびに、そう思うのである。

八幡市長 西村正男

文化センター主催事業

沢口靖子&映画竹取物語

トークショー聞き手
桂 小米朝

《入場料》（全席指定） A席 2500円 B席 2000円 C席 1500円

10/31(土)
午後2時・午後6時
文化センター大ホール

チケットの予約は電話でどうぞ
文化センター ☎971・2111
男山文化ホール ☎983・6002

まちを知る会
一般コース参加者募集

9月24日(木) 午前9時～午後3時30分

「まちを知る会」一般コースの参加者を募集します。

■日時 9月24日（木）午前9時から午後3時30分。小雨決行 ■参加費 無料 ■見学場所 伊佐家、流れ橋、恩地食品、洛南浄化センター（10人以下の場合は中止） ■定員 25人（10人以下の場合は中止） ■その他 昼食のご用意を ▣申し込み・問い合わせ 9月17日までに電話で企画部秘書広報課（☎983・1111）へ

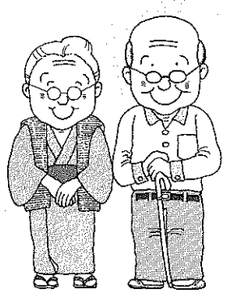
市民まつり
催しの参加団体を募集

市民の手作りによる「市民まつり」を今年も11月1日に市役所周辺で開催します。同実行委員会では、さらに大きな〝友の輪〟を広げるため、各種催しへの参加団体を募集します。

■募集部会 パレード、模擬店、展示、活動発表、あそび ■参加基準 参加市民がふれあいを感じられるもの ▣申し込み 9月21日までに電話で事務局（市役所秘書広報課内☎983・1111または市商工会☎981：0234）へ

愛老会 敬老会

おじいさん おばあさん お越しを お待ちしています。



市では、今年も長寿を祝う「敬老会」と「愛老会」を文化センターで開催します。該当される方へは案内状をお送りしますが、該当するのに案内状が9月15日までに届かない場合は、市社会福祉協議会（☎9883・44450）へご連絡ください。

《敬老会》 9月26日開催（大正6年以前に生まれた方）

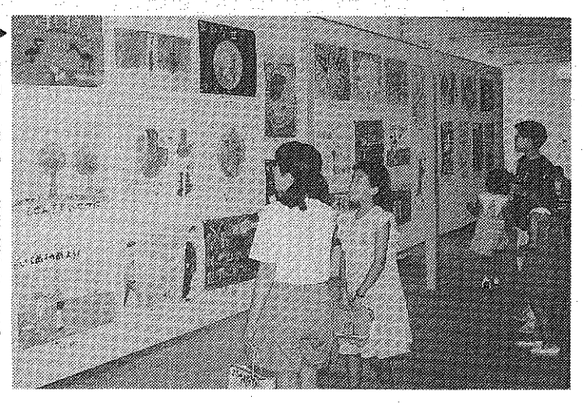
《愛老会》 10月3日開催（大正7年から大正12年までに生まれた方）

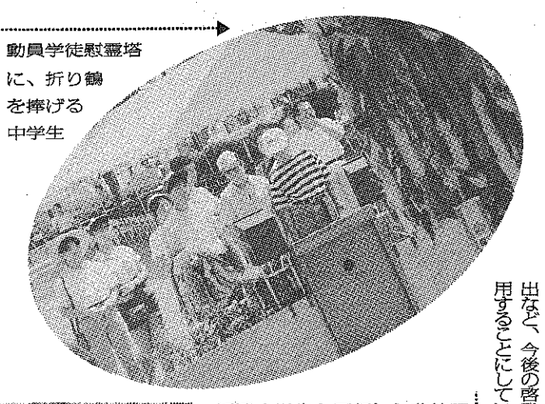
やっぱり平和が一番

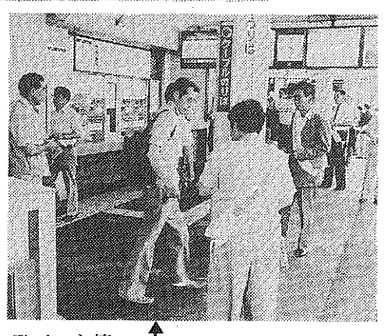
非核平和推進事業特集

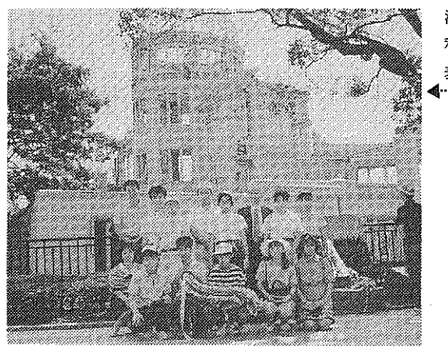
昭和57年9月28日、府下の市町村に先がけて「非核平和都市」を宣言して今年で10年目。市内50団体で構成する非核平和都市推進協議会と市では、今年も8月を「平和月間」として、各種の平和推進事業に取り組みました。「争いは、人の心から始まる」といわれています。非核平和事業は、核兵器の廃絶と軍備の縮小を広く世界に訴えるとともに、私たち一人ひとりが、平和であることの大切さ、命や人権を尊重することの大切さを心にきざみこもうとする取り組みです。今号では、中学生たちが綴る広島研修での体験レポートを中心に、今年の平和事業を紹介することにしました。

《市民のつどい》 黙とうを捧げたあと、平和への願いを託して、ハトを大空に放ちました


《平和と人権展》 人権啓発ポスターと小学児童の絵画作品99点を文化ホールに展示


動員学徒慰霊塔に、折り鶴を捧げる中学生


《市民啓発》非核平和推進協のメンバー70人が、市内4カ所で啓発活動を実施

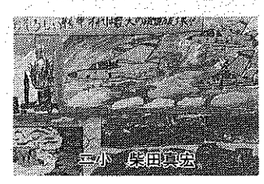

派遣中学生と同行した非核平和推進協、同和教育推進協代表のみなさん（ドーム前で）

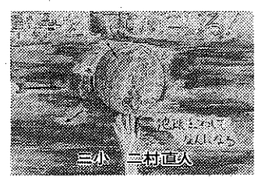
★―★―★ 非核平和の標語決まる

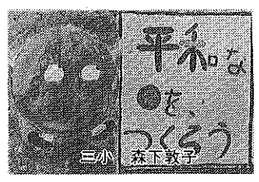
7月に募集した「非核平和の標語」には、12人のみなさんから25点の作品が寄せられました。

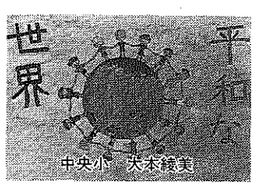
応募作品の中から、小川義勝さん（橋本栗ケ谷）の作品「核ゼロの地球に咲かそう平和の花」と、佐藤義子さん（八幡安居塚）の作品「核のない明るい未来をこどもらに」の2点を採用させていただくことにしました。

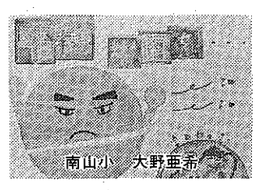
採用標語は、横断幕への掲出など、今後の啓発活動に使用することにしています。

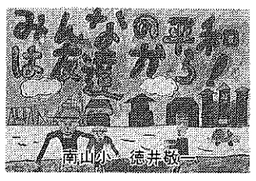












平和を願って一言

原爆威力のすさましさ

男山第三中学校2年
本郷佳典くん

1945年8月6日に広島、9日に長崎と、人類を滅亡の危機に追いやる原子爆弾が相次いで投下された。両都市は一瞬にして破壊され、広島では10万人以上の人が即死。犠牲者は30万人を超えたという。この日本に投下された原子爆弾、その話は語り部さんからも聞いたが、やはり恐ろしいものだということを思い知らされた。

原爆資料館では、熱で鉄板がグニャグニャに曲がっているのを見た。1升ビンが変形していたり、石が熱で色が変わっていたりしていた。その石には、人がいた所に人の姿がくっきりと浮かびあがっていた。弁当の中のごはんがすすになっていたり、焼け焦げてボロボロになった服など、他にも色々なものがたくさんあった。展示品を見ただけでも、原子爆弾は、すさまじい力を持っているのだということがわかる。

今、広島には原爆ドームが残されている。戦争の悲惨さを伝えるためにも、この建物はずっと残してほしいものである。

壁に焼けついた人の影

男山中学校3年
豊田真也くん

広島平和祈念式典に参列して、僕は改めて原爆、そして戦争の恐ろしさを感じた。

原爆資料館は、本当に地獄絵図のようだった。特に印象に残っているのは、原爆の力でコンクリートの壁に人間の影が焼き付いているものだった。原爆の破壊力をまざまざと実感させられた。

アメリカの学者には、「原爆の投下は正しかった。もし原爆を投下しなかったら、もっと多くの人が死んだだろう」と言っている人がいるそうだが、どうして、こういう主張が通るのだろう。原爆によって数十万の尊い命が一瞬にして失われているというのに。そして、今でも放射能で苦しむ人が多くいるというのに。

ミーティングで年配の方が「戦争中は、もっと勝つことだけしか考えられなかった」と言われたが、そう思い込まされ、敵を倒すことだけを考える戦争を、とても恐ろしく思った。

今回の旅行で、平和は大きな人類の過ちの中で成り立っていることを知ることができた。

広島派遣中学生体験レポート

見て、聞いて、感じた47年目のヒロシマ

心に焼付く原爆ドーム

男山第三中学校2年
熊谷典子さん

朝から強い太陽の光が射している中、私は平和祈念式典に参加しました。8時15分になり、平和の鐘の合図で私も黙とうを始めました。黙とうをしている間、昨日見てきた資料館での遺品の数々を思い出して、47年前のこの時、原爆が投下されて多くの人々の命が一度に失われたんだなと思いました。

語り部さんの話のなかで「平和はたくさんの犠牲者によって成り立っている」という言葉がとても印象的でした。私は、広島に行くまでに戦争や平和などについて勉強はしましたが、身近なことに考えられませんでした。写真やテレビで見る原爆ドームと違って、目の前で見たドームはとても印象深いもので、心の中に今も生々しくその姿が焼き付いています。平和をずっと続けるためには、戦争を知らない人たちの時代になっても、その恐ろしさを伝えていかなければなりません。私自身、これからも平和を維持するために、何ができるかしっかり考えていこうと思います。

無差別に奪う多くの命

男山東中学校2年
増田　敦くん

原爆ドームを見て、戦争がどれだけ恐ろしいか、原子爆弾がどれだけ怖いものかということがわかりました。

資料館には、溶けたガラスのビンや中味が真っ黒に焦げた弁当箱など、いろいろなものが展示されていました。原子爆弾の怖いところは、一瞬に、しかも無差別に多くの尊い生命と財産を奪い、まちを徹底的に破壊することです。また、後で生まれてくる子供たちにも障害が出るなど、後々まで大きな被害をもたらすことです。

広島で20万人以上、長崎で10万人以上、第2次世界大戦では310万人以上の犠牲者がでました。これほどの犠牲を出す戦争をなぜしたのか、また、なぜ人を殺してまで領土を広げようとしたのかはよくわかりません。

今の世界の若い人々が互いに理解し合い、協力し合って戦争が起こらないようにしなければならないと思います。広島に行って平和の尊さを理解し、守りぬく決意を固めました。

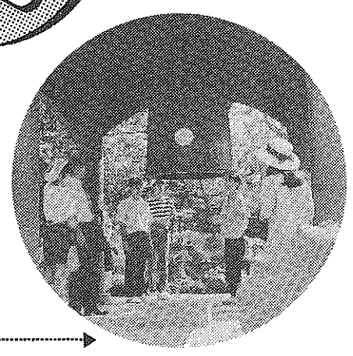
平和の願いが鐘の音に

男山東中学校2年
飯田由香さん

今回、平和記念公園内を見学したり、語り部さんの話を聞くうちに、今までの自分の考えが恥ずかしく思えてきました。そして、戦争で苦しんだ人々や広島、長崎の原子爆弾によって亡くなっていった人々、被害にあった人々がいて、今の平和があるんだと痛感しました。

平和公園内、原爆ドーム、資料館などを見学している時、たった1個の爆弾で半径2キロメートルにわたって焼け野原になり、数多くの人が大変な被害にあい、今でもまだその苦しみを抱えている人やしんでいく人がいると思うと、とても悲しくなりました。そして、公園の平和の鐘を鳴らした時「このままずっと平和でいてほしい」と願っているように音が長く鳴り響いていたのが、とても印象的でした。

科学が進歩している現在、もし、戦争が起これば核戦争となり、地球自体が危なくなって数多くの人々に多くの影響を及ぼしてしまうでしょう。戦争は1度としてはいけない。


平和記念公園では、平和への願いをこめて、平和の鐘を突きました

心の痛みがわかる人に

男山中学校2年
川原絵美さん

資料館で原爆をうけた人の服が飾ってあった。その服は真っ黒に焦げ、ボロボロに破れていた。それを見て、いくら遠くにいても、たった一発の原爆で、人の命や物などが、すべて壊されていく光景が眼に浮かび、原爆の恐ろしさを実感した。原爆がどれほどひどいものであり、たくさんの犠牲者があったかが実感できた。

被爆者というだけで医者にもろくに見てもらえず、就職も結婚もできないという。そんな差別を知り、戦争をすると、弱いものが嫌な思いや情けない思いをすることもわかった。

戦争は、勝っても負けても必ず大量の犠牲者があり、戦争に関係のない人も殺され、将来ある子供たちにまで被害が及ぶ。

語り部さんが「この平和をいつまでも保ち続け、戦争を無くしてほしい。そして、人の心の痛みのわかる人になってほしい」と言われた言葉が、いつまでも、私の心の中に残った。

平和はそれを保つ努力をしなければいけないのだ。

人を変えてしまう戦争

男山第二中学校2年
福田　桂さん

今回広島に行って、〝戦争〟というものが、少しわかった気がする。戦争は、人の考え方を変え、どんどん戦争に反対する人を減らしていく。私はそれがすごく怖い。また、人間が何十年もかけてつくりあげた文化などを1日にして灰にしてしまう。原爆が最もひどい例である。一瞬の光と熱、そして爆風によって何人の人が死んだのだろうか。それを考えると、鳥肌のたつ思いだ。死んだ人だけでなく、生き残った人も、今現在、苦しみ、これからも親から子へと遺伝すると想像したら、嫌になってくる。

世界が平和になるためにはどうすれば良いのか。私の考えでは、戦争を起こす理由が無くなるように、国という枠を取りはずし、宗教や言葉の違いに束縛されず、そして核兵器など、戦争の道具をすべて処分すれば良いと思う。

私が広島へ行って改めて知ったことは、今の日本の平和さだった。この平和を永遠に続けることが私たちの勤めだと思う。

いのちと愛は買えない

男山第二中学校2年
東山　環さん

原爆ドームを自分の目で見たときは、47年前の様子が心の中に浮かび、心を打たれるものがありました。また、広島の街で、とてもきれいな橋のかかっている川を見て、水を求めて川に飛び込んだ方のことも想像しました。

終戦後、47年たった今でも広島に限らず、戦争でつらかったことを思い出し、涙を流す人が多くいます。今から30年後には、そんな涙を流す人はほとんどいなくなってしまう。そうなると、本当の戦争の知識を私たちが引き継ぎたくとも、引き継げなくなり、私たちの頭の中には本当の平和ではなく、表向きだけの平和にならないかが心配です。

悲惨さを伝える写真があったとしても、体験しなかった私たちが、本当のつらさや悲しさをわかることは難しいことです。

いくら進んだ文明を持つ、お金があっても「人の命と愛は買えない」。私の広島への旅は、そういったことを改めて考えさせる旅でした。

京都南社会保険事務所

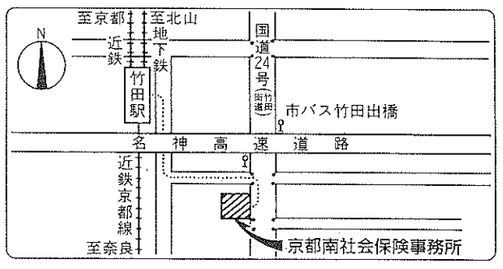
庁舎移転のお知らせ

業務開始は10月1日から

新住所　〒612京都市伏見区竹田七瀬川町8番地の1

電話番号　075−643−3541

【新事務所案内地図】



《交通》　近鉄・地下鉄の竹田駅「東口」東へ徒歩10分
市バス、竹田出橋南へ徒歩2分

防災のための話し合いを家庭や地域で

〝天災は忘れたころにやってくる〟――と、いわれますが、とりわけ地震はいつ起こるかわかりません。

地震の揺れは恐ろしいものですが、揺れ自体よりも恐ろしいのが二次災害です。というのも、地震の揺れが原因で、火事などが起きるからです。このような二次災害の被害を最小限にするためには、「備えあれば憂いなし」というように、ふだんからの備えが大切です。

防災週間 8/30〜9/5

9月1日は防災の日です

さて、みなさんは地震に対しての備えは、万全ですか。

《チェックポイント》
①物が上から落ちてこないようにする　②家具類は倒れないように固定する　③消化器の準備をする　④非常用持ち出し袋を用意する　⑤〝家族防災会議〟を開くようにする

㈳八幡市公園施設事業団
☎981−6111

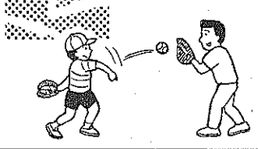
公園の『一般開放の日』が変更

9月から学校週5日制にあわせ実施

一般開放している公園

☆くすのき近隣公園（多目的広場）
☆さつき近隣公園（多目的広場）
☆馬場市民公園

奇数月は第2土曜日
偶数月は第3日曜日



たけのこ料理を募集します

バンブー・フェスティバルに展示

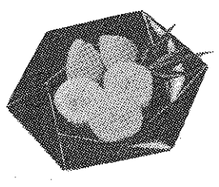
市商工会では、生涯学習フェスティバル事業の一環として、〝たけのこ料理コンテスト〟を行います。

ユニークなたけのこ料理のご応募をお待ちしています。

《応募方法》　9月30日（水）までに、ハガキまたは便せんに料理名、作り方、住所、氏名、年齢、電話番号、職業を記入し、市商工会（八幡三本橋59−9）へ郵送、またはご持参ください。

なお、審査の結果、採用させていただく方には、後日、商工会から連絡させていただきます。

《賞》　採用された料理には参加賞（2000円の図書券）を、さらに優秀な料理には特別賞（5000円の図書券、5点以内）を進呈します。



《展示》　採用させていただいた料理は、10月25日（日）に男山文化ホールで開催する「バンブー・フェスティバル」に展示します。

この場合、展示するたけのこ料理は、応募者においてご用意願います。

問い合わせ　八幡市商工会（☎981−0234）

ぼくの方が上手だよ

夏休み親と子の手作り教室

親と子が一つの目的を持ち互いに協力しあうことで親子のふれあいを深めてもらおうと、7月28日から8月27日までの1カ月間、市内公民館で、「夏休み親と子の手作り教室」が開催されました。

8月3日から3日間、市民陶芸サークル「からひね会」の指導者、酒井甚左衛門さんを講師に同サークル会員らの協力で行われた陶芸教室は、橋本公民館など、3会場で開催されました。参加した親子らは花瓶や皿、湯飲みなど、思い思いの陶器を製作。それぞれの作品は1週間、渇かした後、市文化センターで素焼き、釉（ゆう）薬かけ、本焼きを経て完成。親子で本格的な陶芸に挑戦しました。

8月7日、志水公民館で開催された押し花教室には、15組30人の親子が参加。ヒメユリやロベリアなどの7種類の押し花を使い、額絵やしおりなどを製作しました。

木工教室でキーラックを作る親子

8月8日、八幡市民センターで行われた木工教室には、高槻市森林組合の移動木工教室「どんかち号」が訪れました。杉の間伐材を使って、午前中が小学校低学年の児童とその親らがキーラックなどを製作。午後は、小学生高学年の児童らがビデオラックなど製作しました。日ごろ大工仕事に縁のないお父さんにお母さん。慣れない手つきでのこぎりや木工やすりを手に額に汗をにじませながら子供たちと悪戦苦闘。最後にバーナーで焼きを入れ、完成した作品に思わずニッコリ。楽しい夏休みの一日を過ごしました。

夏休み期間中に行われる幼児から小学生までの子供とその保護者を対象とした公民館講座は、公民館サークルの指導者らの協力で、年々、教室の種類が増え、参加者も増加しています。今年は、陶芸、押し花、木工などの手作り教室の他、体操教室、歴史教室、折り紙教室なども開かれ、延べ200組450人の親子が参加しました。

親子で花瓶や皿などを作る陶芸教室

私の名前はスコット

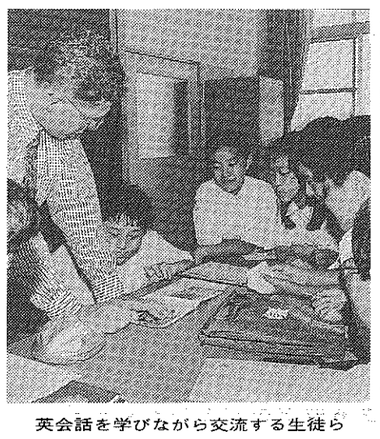
東中英会話クラブと交流

「生きた英語学習」のAET（英語指導助手）として、英会話、発音などの語学学習の補助を行います。

市では、子供たちの英語に対する興味を深めるとともに国際感覚を身につけてもらおうと、平成2年から英語を母国語にする外国人を市内中学校の英語授業に派遣。LL教室を設置するなど、会話を中心とした英語学習の充実に努めてきました。スコットさんは、授業以外にもクラブ活動、学校行事などにも積極的に参加。要請があれば小学校で児童たちとも交流するなど、市内の子供たちの国際文化教育の一役として活動します。

8月19日、東中学校のESS（英会話クラブ）にスコット・ジョージフ・スワィハートさん（23）が訪れ、生徒らと英語であいさつ、自己紹介や家族の写真を見せ合いながら、それぞれ自分の家族の紹介をするなど、英会話を通じて交流しました。

スコットさんは、国際社会に対応できる人間作りに、文部省などが実施する「語学指導などを行う外国青年招致事業」で招かれたアメリカ・ミズーリ州出身の外国人講師。市内の中学校で2学期より

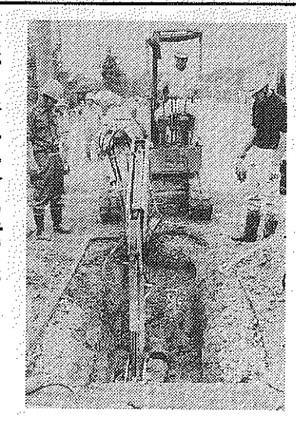

英会話を学びながら交流する生徒ら

断水事故に備え

給水対策訓練を実施

「水の日」の8月1日、馬場市民公園で上水道給水対策訓練が実施されました。

4月に起きた断水事故を教訓に、初めて行われた訓練には、市職員、水道工事業者ら61人が参加。「送水管の破損により送水不能」との想定で午前9時30分、本部事務局、広報対策部、応急対策部、給水対策部に分かれ、訓練を開始しました。掘削機械やエンジンカッターなどの工事用重機材を使って地下1メートルに埋設された破損送水管の復旧工事作業や断水区域住民への広報、給水活動など、本番さながらの訓練が迅速に進められました。最後に対策本部長の高井水道管理者が「水は、私たちの暮らしに欠かすことができません。万一、断水を伴うような事故の際、今日の訓練が大いに役立つと確信しました」と講評。午前11時、予定より30分早く全ての訓練を終了しました。


重機を使って破損送水管の復旧作業

お年寄りらの昔話に耳を傾けながら自分らで作った料理を食べる子供たち

すいとんのお味はいかが

地域の子供とお年寄りの交流会

南ケ丘老人の家で8月19日、地域の子供たちとお年寄りの交流会が行われ、お年寄りからハンカチを使って絞り染めの方法を教わったり、昔懐かしい「すいとん」やおにぎりを作って食べるなど、楽しい1日を過ごしました。

南ケ丘老人の家を訪れた子供たちは20人。おにぎりを手のひらを真っ赤にしながら、一生懸命に作りました。「すいとん」は見るのも初めてとか。ジャコでだしをとり、塩だけで味付けされた「すいとん」を「思ったよりおいしい」と話す子供らに、お年寄りは「昔はもっと材料が粗末でおいしくなかった」と食べ物で苦労した体験談や空襲で八幡に爆弾が落ちた話、地域の産業「ハのこ絞り」の話などを子供たちに語って聞かせ、子供たちは料理を食べながら熱心に耳を傾けていました。

昔から、子供らがお年寄りと語り合い、ふれあうことで料理や裁縫などの生活の知恵を身につけました。核家族化が進む中、そんな光景も少なくなり、この日、子供たちは貴重な体験をしました。

消費者の卵が15人

くらしのヤング教室に参加

「くらしのヤング教室」が8月20日、市文化センターで開かれ、小学生15人が参加しました。

ヤング教室は、子供らにお小遣いの計画的な使い方、食品の安全性などを考えてもらおうと、市消費者コーナーが小学生らを対象に開催。「賢いお小遣いの使い方」をテーマにした講演と安全でおいしいおやつの調理実習が行われました。

講演では、同コーナーの相談員が上手な買い物の仕方、お小遣い帳の使い方などをアドバイス。この後、栄養士の山口真澄さんらの指導で乳製品を使った調理実習が行われました。メニューは、ミルクプリン、ヨーグルトシェークなど、児童らの大好きなものばかり。エプロンを身に着け調理方法の説明を受けた後、3つの班に分かれて、おやつ作りに挑戦しました。

グループごと楽しく調理実習

親と子で八幡のまちを学ぶ

サマースクールに31組

7月29日と30日の両日、小学生とその保護者らを対象に「親子サマースクール」が開催され、31組の親子が参加しました。

参加者らは、西村市長から市の概要について説明を受けた後、市役所を出発。上津屋の流れ橋、重要文化財の伊佐家、洛南浄化センターなどを見学しました。子供たちと一緒に参加した保護者らは「いろいろなことを知ることができ大変満足しました」と感想を述べ、ふるさと八幡への理解を深めていました。

写生会参加者作品展を開催

緑の木かげの写生会

市観光協会主催「第5回緑の木かげの写生会」の作品発表会が8月29日から30日までの2日間、市文化センター展示室で開かれました。

出品された作品は、八幡宮周辺をクレヨンなどで描いた保育園児らの作品や小学生の本格的な水彩画など131点。訪れた市民の関心を集めていました。

作品は8月20日、市役所で審査され、優秀賞に12人、努力賞に15人が選ばれました。受賞されたのは次のみなさんです。

（敬称略）

▽市観光協会長賞　前川亜理紗（なるるみ幼）、横須賀有紀（大阪聖母学院小）▽市長賞　森下容子（第三幼）渡辺志保（八幡小）▽市教育長賞　大野真衣子（八幡小）、塩見彩（わかたけ保）▽石清水八幡宮・宮司賞　中村亜紀子（八幡小）、奥田研史（南山小）▽京阪電鉄㈱賞　中島あずさ（第三小）、田制恵理子（八幡小）▽市商工会長賞　武田はるか（八幡小）、安野智李（有都小）▽努力賞　尾亀知弘（八幡幼）、樋口はるか（八幡幼）、北村桂子（早苗幼）、堀佳菜子（山鳩保）、増田剛志（八幡小）、石田優弥（八幡小）、徳永有希（有都小）、尾崎朱美（八幡小）、赤井香織（橋本小）、奥村仁（南山小）、鹿野結也（中央小）、中村英世（中央小）、白数英子（大阪聖母学院小）、森奈津子（有都小）、葉山幸恵（中央小）

寄付

◇国際ソロプチミスト八幡（安田淳子会長）から8月17日、緑化推進にと「花と緑のチャリティバザー」の収益金の一部20万円を市に寄付していただきました。ありがとうございました。

◇8月13日、八幡市志水第四老人クラブ（増尾子市郎会長）から車椅子の購入資金にと市に10万円を寄付していただきました。ありがとうございました。

火災・救急統計

▷消防本部　☎981－4119◁

	4年1月～7月累計（7月のみ）	3年1月～7月累計
救急件数	883件（138件）	848件
搬送人員	939人（152人）	886人
火災件数	10件（3件）	10件

涼を呼ぶ大輪の花

第22回朝顔展に69鉢

市老人クラブ連合会益栽部（谷村和平会長）主催の「第22回朝顔展」が8月8日から10日まで、市文化センターで行われました。

出品された朝顔は、切込作りやあんどん作りなど69鉢。赤や青、紫など色鮮やかな大輪は、その美しさを競い合い、会場を訪れた市民の目を楽しませていました。

出品された朝顔は、谷村会長らが審査。谷村会長らは「いかに設定された日に咲かせるかが問題」と話していました。

入賞者は次のみなさんです。

（敬称略）

▽市長特賞　石井正三▽社会福祉協議会長賞　関通夫▽市職員労働組合努力賞　吉川忠吉▽市長入賞　西田清秋、奥本治一、河原崎嘉一、佐野サヨ、道本幸子、道上孝雄、沢村信一

やわた文芸

俳句

逝くときは夫に抱かれ虫の夜に　橋本栗ケ谷
深呼吸くもの巣光る木の間かな　八幡水珀
雌鹿瞳に濃ゆき郷愁雪ほのか　男山松里
息つめて炎暑の午后を堪えにけり　男山長沢
夕涼み月もみてる遺花火　下奈良二階堂
踊り手は艶めく夜半の姥桜　川口堀ノ内
雲流る平和の鐘と歎祷と　橋本栗ケ谷

川柳

ゆかた着て一人しゃれてる五十路かな　八幡土井
世界平和言葉あれども姿なし　八幡北浦
PKO遺影の母が泣いてるる　橋本栗ケ谷
クーラを止め忘れたかバスの中　八幡園内
スタンドも消してつき合う虫の歌　八幡北浦
あざむくや妻友も裂く恋残花　八幡三本橋

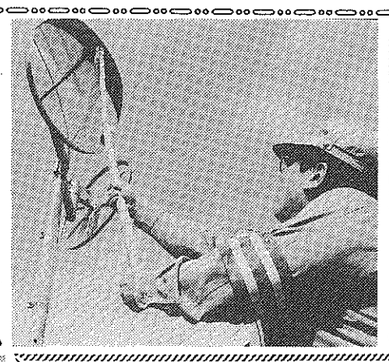
短歌

ワイメアの峡谷黒き羊が点々と動くが見えて油絵のごと　八幡岸本
挿花展こき師に捧ぐ蓮華草葉乗の露の光麗し　八幡土井
かたむきし碑（いしぶみ）ありて細き途昔は馬の往き来もありなし　男山竹園
華咲けり大和撫子メダリスト泳ぎにゆわらマラソン発刺（はつらつ）　男山松里
忘れ得ぬことの一つに幼な夏友と拾いし軍機の破片　八幡園内
父母の眠る墓石に話しかけ年に一度の盆墓参り　八幡大谷
蔵のすみ目ざめし器の梅酒よこはく色した三年の初夏　戸津南小路
誰が植えし山吹咲きて廃村のこけむせる石垣にしばしたたずむ　男山指月
腹底に黙く太鼓の音響きヨッサみこし練り行く　八幡園内
竹が持つ強さやさしさ優雅さに僧昭栗の心を偲べり　八幡小松
佐々木邦でありしか「地につめ跡を残すもの」　宍戸
若き日の吾此の言葉好みぬ　八幡舞台
さんざめく星の煌（きらめ）き眺むればこの世の缺別（わかれ）あるは悲しき　八幡福祿谷
古都の町祇園祭は雨の中三十三基はおもむろに流る　戸津北小路

【募集】短歌、俳句、川柳の作品を募集。作品には住所、氏名、電話番号を必ず記入（楷書）し、〒614八幡市八幡園内75、八幡市企画部秘書広報課作品係へはがきで。※締切りは毎月15日必着。作品は1人1点に願います。

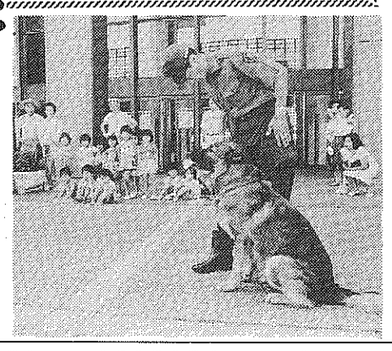
カーブミラーをゴシゴシ水洗い

◇交通安全推進協議会（西尾純一会長）が8月22日、男山地区と橋本地区の交通安全施設の点検と カーブミラーの清掃作業を行いました。この日、5班に分かれた同会員11人が、両地区の全てのカーブミラーを長い柄の付いたたわしなどを使って水洗い。同協議会は日ごろから市内857カ所のカーブミラーなどの交通安全施設の保守点検を行っており、地域の交通安全を推進しています。



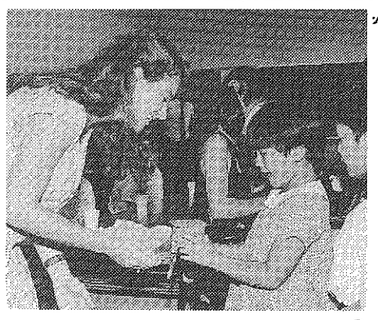
犬とのふれあいフェスティバル

◇犬との正しい接し方、飼い方などを学んでもらおうと犬の適正飼養推進協議会が8月21日、市役所周辺で「第12回ワンワンフェスティバル」を開催しました。会場では、ビデオ映画の上映や写真展による動物愛護の啓発、小犬とのふれあいコーナーの他、警察犬による物品選別、服従訓練、襲撃訓練の実演も行われ、集まった保育園児ら200人は大喜び。犬とのふれあいを楽しんでいました。



八寿園で八老連演芸大会を開催

◇老人憩いの家「八寿園」で8月28日、市老人クラブ連合会の「第10回八幡市老人クラブ演芸大会」が開かれました。年に1回開催されるこの演芸大会に今年は210人のお年寄りが出演。得意の歌や舞踏を披露しました。この日のため練習をつんできたお年寄りらは、舞台度胸もたいしたもの。会場一杯の観客から、大きな拍手が送られていました。



海を越えてやって来た文通相手

◇文通などで国際交流を進める地域の子供国際交流会に8月19日、アメリカから文通相手のエイミー・フォーブスさんが訪れました。志水公民館で行われた歓迎会にはエイミーさんの文通相手、藤谷秋子さん（南山小4年）ら子供会のメンバー9人が参加し、手作りの竹とんぼや財布などをプレゼント。互いの家族の話をするなど、楽しく交流しました。

おめでとうございます　平成4年7月出生

住所	赤ちゃん	保護者
男山八望	荒木 達也	真人
男山八望	田中 魁人	剛
八幡山田	岸 涼香	伸行
男山石城	梅澤 友佑	忠利
八幡山田	山部 一也	浩
男山笹谷	植村早央里	幸治
橋本糸ケ上	寺内菜津美	武史
男山金振	谷 隆広	正勝
男山石城	文珠 梨沙	康雄
八幡楠ノ口	楠 貴志	治彦
八幡長町	齊藤宏次郎	一之
川口東扇	山本 彩夏	稔
男山弓岡	河本 亘人	陽介
八幡垣内山	山本 翔	茂生
男山弓岡	伊藤 健樹	厚一
男山石城	山下 純太	幸太郎
男山八望	邊本 茜	洋造
八幡小松	湯谷 夏樹	秀樹
男山笹谷	山村 雄大	義雄
八幡盛戸	尼崎真奈美	憲一
八幡源氏垣外	宮西 祐輝	俊夫
男山金振	増田 梨沙	直貴
男山香呂	岡田 稜	加津美
男山弓岡	長濱 弦	行弘
八幡吉原	高橋 美菜	克幸
男山長沢	長尾 祐哉	博
男山八望	山野菜未子	亨
男山八望	高橋 功樹	紀樹
八幡福祿谷	志水 祐太	正美
男山長沢	池田 真規	茂
上津屋里垣内	鷹取 実優	誠
男山石城	古井 竜太	国尋
八幡福祿谷	柴田 葵	豊
男山香呂	大和 明代	明

5月号（3月届出分）に掲載もれがありました。おわびして掲載します。

橋本新石　湯川礼依子　恭一

結婚

住所	夫	妻
男山香呂	福山 貢	宮川 昌子
美濃山幸水	古島 佳近	澤田 ユミ
男山美桜	難波 篤史	本多 由美
八幡軸	山田 強	齊藤 文子
八幡備前	服部 隆也	水口さおり
男山香呂	時國 一記	澤井 光子
橋本栗ケ谷	青山 勇	黒川 貴子
八幡源氏垣外	新井 修嗣	石橋 芳美
男山笹谷	川上 祐司	川松紀代美
八幡科手	平野 利行	山田 廣美
男山石城	石垣 忠	進藤 淳子
橋本平野山	高橋 康徳	岡田真紀子
男山指月	坂本 登	山本 里美

（敬称略）

乳児医療が無料

市では、生後1歳未満の赤ちゃんの医療費について、自己負担分の全額、または家族療養附加給付金を除いた額を支給しています。（健康保険が適用される診療に限る）

なお、国民健康保険に加入している赤ちゃんは、生後6ヵ月未満まで国民健康保険で10割給付（自己負担金なし）していますので生後6ヵ月以降1歳未満の赤ちゃんが対象となります。

▽受給の方法　赤ちゃんが生まれたとき、または、生後1歳未満の赤ちゃんが転入されたときは市福祉部生活課へお越しください。受給者証の交付申請書をお渡しします。（組合管掌健康保険と共済組合健康保険の加入者には、家族療養附加給付証明書もお渡しします）

申請者には、後日、乳児医療費受給者証と支給申請書を送付します。

▽所得制限　本制度には所得制限があり、これを超える人は適用されません。

◈問い合わせ　詳しくは、市福祉部生活課（983－1111内線233）へ

'92 相談コーナー　9月

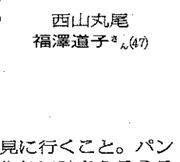
法律相談<予約制>	1日(火)、16日(水)、22日(火) 10月6日(火)、13:30～16:00 市役所1階相談室
心配ごと相談（人権・行政）	10日(木)、25日(金) 10:00～16:00 市役所1階相談室
年金相談	14日(月)、28日(月) 13:00～16:00 文化センター2階第1会議室
家庭児童相談室出張相談	8日(火)、24日(木) 10:00～15:00 男山公民館
老人健康相談	24日(木) 9:30～11:30 八寿園

市民の輪

この欄は、テーマについて市民のみなさんに自由に語っていただくコーナーです。また、登場いただく次の人を紹介してもらい、人から人への〝輪〟をつないでいくコーナーです。
さて、今月はどんな話が聞けるでしょう。

あなたも一言

今月のテーマ　〝余暇の利用〟



今までは子育てで精一杯でしたが、やっとひと息つくことができました。主婦ばかりでサークルをつくり、軟式庭球を楽しんだり、好きな草花を家で栽培し、生花サークルへも通ったり、男山図書館へ出向いては、本や雑誌とにらめっこ。そして、これからは社会に役立つようなことにも…。まだまだ、やってみたいことがいっぱいあります。

西山丸尾　福澤道子さん(47)

映画を見に行くこと。パンやお菓子作りに腕をふるうこと。日常生活に使えそうなものがないか、骨とう品のお店を見て回ること。アスレチックのスクールで、大粒の汗を流すこと。そして、牛乳パックの回収の手伝いと結構忙しく動き回っています。でも、家族のみんながそろって、何か活動できる時があまりないのが一番残念なことです。

男山雄徳　谷口洋子さん(45)

心の豊かさを求める人が増え、高齢化社会の到来とともに生涯学習という言葉をよく耳にします。年をとってからでも勤勉な姿勢は大切。主人の母は文学講座や自然に親しむ会、朗読の勉強など、余暇をうまく使っています。そこで私も陶芸や習字、そしてテニスなど、自分にできそうで長続きすることにチャレンジしていこうと思っています。

男山笹谷　山本直美さん(40)

「はい」相談コーナーです

休日応急診療所

内科・小児科・歯科

日曜日や祝日に、歯が痛くなったり、急に子どもが熱を出し、医者にかかろうと思ったことがありませんか。このようなときは、八幡市休日応急診療所をご利用ください。
健康であることは私たちみんなの願いです。市では、昭和53年12月から休日等における急病患者に対応するため、休日応急診療所を開設しています。
この診療所は、一般の内科及び小児科、歯科の医師がみられる内容の病気で、急を要する診療を行うところです。
◇診療科目　内科及・小児科・歯科
◇診察日　日・祝日及び年末年始（12月31日～1月3日）
◇受付時間　午前11時30分～午後5時30分まで
◇診療時間　正午～午後6時まで
◇所在地　八幡市八幡園内73番地の3（八幡市役所北側）
◇電話　983・3001

秘書広報課　☎983－1111（代）

広報伝言板

八幡市役所　八幡園内75番地　☎983－1111（代表）

第32回 全国下水道促進デー

'92 ヤワタウオーターリフレッシュフェア

参加無料

とき　9月20日(日) 午前10時～
ところ　ニチイ八幡店1階東側駐輪場

《内容》★和太鼓サークル〝かがり〟の演奏★金魚すくい★汚泥の有効利用展示★下水道展示コーナー★カメラ車展示実演★ビデオ上映★園芸コーナー★下水道クイズ（賞品を用意）★粗品進呈★水洗化普及促進絵画展（二区公会堂）
ご家族お揃いでお越しください。

上下水道部下水道管理課

男性のマイカー教室

▼日時　10月15日（木）午後1時30分～午後5時
▼場所　文化センター第3会議室及び駐車場
▼対象者　市内に居住及び在勤する女性
▼定員　30人（先着順）
▼講師　JAF日本自動車連盟指導員
▼参加費　500円（当日徴収、資料・軍手代等）
◉申し込み・問い合わせ　9月10日～10月9日までに電話で、山柴公民館（☎982・0004）へ

男性の料理教室

▼日時　10月17日、24日、31日の午前10時～12時30分
▼場所　男山公民館調理室
▼料理内容　下表を参照
▼対象者　市内に居住及び在勤する男性
▼定員　各20人（先着順）
▼講師　市栄養士研究会　薗村清美氏ほか
▼参加費　各1000円（当日徴収、材料代）
◉申し込み・問い合わせ　下表により、希望するコースを選び、9月10日～10月9日までに電話で、男山公民館（☎981・4204）へ

男性のための料理教室日程表

月日	題名（コース）	献立名
10月17日(土) 10:00～12:30	酒のさかな	鰺（あじ）のフリットのサラダ仕立て、その他
10月24日(土) 10:00～12:30	おとうさんの自慢料理Ⅰ	ラザニアと手打ちそば、その他
10月31日(土) 10:00～12:30	おとうさんの自慢料理Ⅱ	フライパンを使ったローストビーフ、その他

竹笛コンテストを開催

参加者を募集します

市観光協会では、手づくりで竹を使用した笛（竹笛）を製作し、その竹笛の竹特有の音色を披露（演奏）していただく「竹笛コンテスト」を開催します。
▼開催日時　10月25日（日）午後1時～3時
▼開催場所　男山文化ホール（ふれあいホール）
▼応募作品　手づくりの竹笛（ただし、既製品、または既製品を改良したものは除く）
▼応募資格　特に制限は無し
▼応募期間　9月1日（火）～10月9日（金）まで受付
▼応募方法　応募用紙と作品を、観光協会事務局（市役所商工観光課）まで持参し、受付をしてください。応募用紙は商工観光課にあります。
▼審査方法　自作の竹笛で、自然の音色やうぐいすの鳴き声、動物の鳴き声など、または簡単な曲を披露していただき、観客の拍手の大きさで入賞者を決定。
◉問い合わせ　観光協会事務局（☎市役所内線328）へ

募集

婦人会の歩こう会に参加を

貴船口から鞍馬山へ

市教委と市婦人会では、女性大学「歩こう会（山歩き）」の参加者を募集します。
▼対象　市内在住の男女
▼日時・集合　10月13日（火）午前8時50分、八幡市駅に集合（雨天の場合は、10月16日（金）に順延）
▼コース　八幡市駅～貴船口～鞍馬山
▼参加費用　無料（ただし、昼食は各自持参、交通費は各自負担のこと）
▼その他　山道のため、動きやすい服装・運動靴で
◉申し込み・問い合わせ　10月5日までに電話で、平松（☎981・7086）、または柴田（☎982・3907）、または社会教育課（☎市役所内線454）まで

ゲートボール大会を開催

参加チームを募集

市ゲートボール連合では、第6回理事長杯争奪ゲートボール大会の参加者を募集します。
▼日時　9月30日（水）午前9時～午後4時
▼場所　市民スポーツ公園
▼資格　市内在住及び在勤者
▼試合方法　予選はリーグ戦、決勝はトーナメント
▼参加費　1チーム、千円
◉申込み・問い合わせ　9月8日（火）までに、電話で同連合理事長＝中村（☎9882・8855）まで

家庭婦人バレーボール大会

参加チームを募集

家庭婦人バレーボール連盟では、体振会長杯争奪家庭婦人バレーボール大会を開催します。
▼日時　10月11日（日）午前9時30分から
▼場所　八幡市民体育館
▼資格　市内在住・在勤の家庭婦人で編成されたチーム
▼参加費　1チーム2千円
▼その他　9人制でトーナメント戦
◉申込み・問い合わせ　9月26日までに連盟理事長＝竹中（☎971・2297）まで

テニス大会の参加者を募集

八幡市民総合体育大会

市テニス協会では、第8回市民総体「硬式テニス大会」の参加者を募集します。
▼日時　①10月4日（日）一般男子ダブルスの部＝午前9時～、一般女子ダブルスの部＝正午～
②10月11日（日）ミックスダブルス（一般の部、夫婦の部）＝午前9時～（雨天時は10月18日に順延）
▼場所　市民スポーツ公園、有智郷市民テニスコート
▼参加資格　高校生以上
▼参加費　2人一組、2000円（当日徴収）
▼申し込み　ハガキに出場種目名、ペアーの住所、氏名、年齢、電話番号、所属サークル名を記入し、9月22日までに、市教委社会教育課「硬式テニス大会」係（野尻正畑12　市民体育館内）へ
◉問い合わせ　理事長＝酒井（☎983・3757）まで

府民総体の出場者を募集

スポーツで体力づくりを

市体振では、府民総体の出場者を募集します。参加資格は18歳以上（平成4年4月1日現在）で、本年4月30日以前より大会出場時まで、引き続き府内在住の人です。
《陸上》▼日時　11月1日（日）午前11時～
▼会場　西京極総合運動公園陸上競技場
▼種目　百㍍・3千㍍・走幅跳・砲丸投・4百㍍リレー
▼募集人員　選手、監督を含め17人以内
《バドミントン》▼日時　10月31日（土）・11月1日（日）午前9時30分～
▼会場　亀岡運動公園体育館
▼募集人員　10人以内（選手は男女各4人まで登録）
《ボーリング》▼日時　11月8日（日）午前10時～
▼会場　福知山サンケイボウル
▼募集人員　7人以内（選手は6人まで）
◉申込み・問い合わせ　9月19日までに、はがきに代表者の住所、氏名、電話番号、参加種目を記入し、社会教育課（野尻正畑12　市民体育館内☎983・5111）へ

ウオークゲーム参加者募集

家族揃って男山散策を

市観光協会では、第6回男山散策ウォークゲームの参加者を募集します。
▼日時　9月23日（祝）午前9時～午後3時（雨天時は27日に順延）
▼集合　八幡宮一ノ鳥居前
▼会場　男山周辺及び東高野街道周辺の名所旧跡
▼参加資格　家族でご参加ください（個人参加なし）
▼参加費　1家族500円
◉申込み・問い合わせ　9月18日までに、ハガキに住所、参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入し、市役所商工観光課内の市観光協会事務局（☎市役所内線328）へ

その他

リサイクル市施設見学開催

空缶持参で折居清掃工場へ

清掃週間実行委員会では、資源の有効利用などを目的とした、次のイベントを開催します。
《リサイクル市》
▼日時　9月20日（日）午前10時30分～午後1時まで
▼場所　折居清掃工場（太陽が丘南隣り）
▼内容　①リサイクル市　まだ使えるゴミを展示し、希望者に無料でお譲りします。また、各家庭の不用品の持ち込みも歓迎（ただし、運搬は各自で責任を）。受付時間は、午前11時30分まで、抽選は正午から行います。
②子ども向けキャンペーン　空き缶を3個以上持参すると金魚すくい、スーパーボールすくいができます。
③リサイクルアート展　空き缶を変身させる遠藤賢治氏の作品展とアルミ缶バッジ工作コーナー
④暮らしとごみ写真展　「暮らしとごみ」写真コンクールの応募作品を展示
《清掃施設見学会》
▼日時　9月26日（土）午前10時～午後3時まで
▼見学施設　沢第2清掃工場、折居清掃工場など
▼定員　50人（先着順）
▼参加費　無料（昼食付き）
▼その他　貸切バスを運行
◉申し込み・問い合わせ　城南衛生管理組合広報課（☎631・5171）まで

下水道処理施設の一般公開

処理施設を見学しませんか

府下水道公社では、第32回全国下水道促進デーに合わせて、洛南浄化センターの施設を一般公開し、映画の上映などの催しを行います。
▼日時　9月13日（日）午前9時～午後4時まで
▼場所　洛南浄化センター（八幡市八幡焼木1）
▼申込み　当日、直接会場へ
◉問い合わせ　洛南浄化センター（☎632・1433）

戦没者遺族の慰安行事開催

平和の尊さを改めて考える

市では、11月7日（土）に八幡市戦没者遺族慰安行事を行います。
この催しは、平和の尊さを改めて考え直し、遺族の方々の日ごろのご労苦をねぎらうために行うものです。
遺族の方々には、後日、詳しい案内を差し上げますが、戦没者の遺族でありながら、まだ、市に届け出ていない方は、ハガキに戦没者氏名及び遺族代表者の住所、氏名、続柄、電話番号を記入して、9月30日（水）までに市役所生活課（八幡市八幡園内75）へお届けください。
◉問い合わせ　福祉部生活課（市役所内線211）へ

未就業看護婦さんは連絡を

9月末までに市衛生課へ

京都府では、看護婦等の確保対策の一環として、看護婦（士）、准看護婦（士）、助産婦及び保健婦の資格（免許）を持ちながら、現在、業務についておられない人を把握するための調査を実施しています。
該当する人で、これまでの調査にご協力いただいてない人は、次の内容を電話でご連絡ください。
▼連絡事項　①氏名②住所③電話番号④生年月日⑤免許の種類
▼連絡期間　9月1日（火）～9月30日（水）まで
◉連絡先　市福祉部衛生課（市役所内線347）まで

平成4年10月1日　企画部企画課

就業構造基本調査・商業統計調査 商業実態基本調査

9月中旬から調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

エンジョイ・スポーツ

ご家族そろってスポーツを楽しみませんか

9月23日(祝)　午後1時～4時　八幡市民体育館

スポーツ：バドミントン、トランポリン、ショートテニス、ソフトバレー、卓球ほか
体力測定：コンピュータによる体力測定であなたの体力年齢がわかります　垂直とび・起立時間・バランス・握力ほか

受付は、当日会場で行います。運動のできる服装（上ばき用意）でご参加ください。

主催　教育委員会・国民健康保険・公園施設事業団

犬の狂犬病予防注射と登録

あなたの愛犬は受けていますか

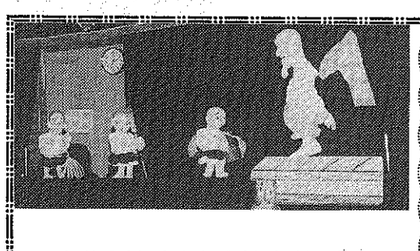
飼い犬の狂犬病予防注射と登録を下記の日程で行います。今年4月の実施時に予防注射を受けていない犬は、必ず受けてください。
▽対象　生後91日以上の犬
▽料金　1匹　5020円
▽有効期間　1年間有効
▽その他　愛犬手帳をお持ちの方は、必ず会場へご持参ください。また、会場では犬のふん、尿の後始末をお願いします。

狂犬病予防注射日程表

月日	受付時間	場所
9月16日(水)	10:30～11:00	母子健康センター
	11:15～11:45	橋本公民館
9月17日(木)	10:30～11:00	川口扇集会所
	11:15～11:45	老人憩いの家（八寿園）

田辺保健所衛生課（☎07746－3－5745）

初級 人形劇づくり講習会を開催



人形づくりや脚本づくりなど、すべて自分たちの手で人形劇を作ってみませんか。
市では、女性のリーダー育成を目的に、初級の「人形劇づくり講習会」を実施します。子ども連れでも参加できるように、保育ルームも用意しています。ぜひ、ご参加ください。
▶実施日時　10月12日（月）～来年3月15日（月）までの毎週月曜日、午前10時～正午まで（ただし、第1月曜日及び年末年始は除く）、全16回実施。▶場所　男山文化ホール▶対象・定員　女性、25人（先着順）▶講師　枚方市人形劇団ら・ぶーか所属　広田美那子氏▶参加費　無料（ただし、材料費は実費）▶その他　保育希望の方は、事前に申込み必要。
◉申込み・問い合わせ　9月10日～9月30日までに電話で、市教委社会教育課へ

よりよい暮らし　消費者コーナー

☎983－1111内線256

暮らしの物価情報

＜8月の物価調査結果＞

番号	調査品目	規格・容量	平均値	前月比	前年比	都内平均値
1	食パン	1斤・6枚切り	171	0.0	12.5	165
2	即席ラーメン	100g・袋入り	81	8.0	9.5	73
3	マヨネーズ	300g・ポリ容器入り	234	△0.4	△2.5	239
4	ケチャップ	300g・ポリ容器入り	254	0.8	1.2	247
5	サラダ油	700g・ポリ容器入り	378	2.4	3.6	362
6	白砂糖	1kg・袋入り	242	3.0	1.7	221
7	みそ	1kg・袋入り	396	2.6	2.1	384
8	インスタントコーヒー	200g・ビン入り	1,129	1.1	6.8	1,070
9	牛乳	1ℓ・紙パック入り	200	△2.0	7.0	191
10	バター	225g・箱入り	382	2.7	4.9	375
11	小麦粉	1kg・袋入り	207	△1.4	4.0	195
12	しょう油	1ℓ濃口・ポリ容器入り	284	△3.4	0.0	289
13	牛肉	100g・スライス・中	336	0.6	△1.5	314
14	豚肉	100g・スライス・中	165	△4.1	△2.4	162
15	ハム	100g・プレスハム・中	182	△2.2	6.4	165
16	塩サケ	100g・紅サケ・中辛	240	0.0	△15.5	288
17	海老	100g・無頭・約8cm	274	△3.9	13.7	327
18	鶏卵	10個パック・Mサイズ	122	△4.7	△31.5	142
19	キャベツ	1kg	174	△8.4	△20.9	220
20	たまねぎ	1kg	131	△12.1	△38.8	158
21	じゃがいも	1kg	188	△16.8	△46.7	239
22	きゅうり	1kg	288	△20.0	△31.3	489
23	トマト	1kg	377	△29.3	△25.3	667
24	洗濯用粉石けん	1kg	338	0.0	2.4	338
25	台所用洗剤	600mlポリ容器入り・中性洗剤液状	320	0.0	—	288
26	台所用ラップ	幅30cm・長さ20m・塩化ビニリデン製	217	0.0	△3.1	202
27	トイレットペーパー	55m・4個入り	279	0.0	5.3	266
28	ガソリン	1ℓ・レギュラー・現金売り	118	0.9	△2.5	—
29	軽油	1ℓ・現金売り	74	△2.6	△3.9	—
30	灯油 持ち帰り	18ℓかん入り	922	△0.5	△1.6	—
	灯油 配達料込み		1,025	△1.0	2.9	—

（価格単位・円：比率単位・%）

暮らしのリサイクル

◆楽器類　①エレクトーン応談②エレクトーン（旧式）無料
◆家具　①学習机用キャスター付イス2千円②アンネルベット（シングル・セミダブルのツイン）1万円③ソファーベット1万円
◆その他　①健康マット（メーカー・フランスベット）1万円②シングルマットレス無料③トレーニングマシーン（ボート漕ぎ）3千円
◇子供用自転車16～18㌢◇一輪車18㌢◇大人用自転車24㌢◇シンセサイザー◇エレクトーン◇ピアノ◇卓上型シンセサイザー◇石油ストーブ◇アンテナ付テレビ◇ミニコンポ◇ビデオデッキ◇カラーテレビ（16～20型）◇ソファーベット◇小型整理タンス◇シングルベット◇ワンタッチネリー（ブラームスの子守唄）◇ベビーカーB型◇ベビー服（0～1才用）◇模型電気機関車セット◇書棚（本棚）◇ダブルベビーカー
◇　◇　◇
このコーナーに掲載している品物に対するお問い合わせは、市消費者コーナー（☎市役所内線256）へご連絡ください。
市役所1階ロビーには、「不用品情報板」を設けています。なお、紹介後の成立、不成立は、必ずご連絡願います。

暮らしの情報板

食中毒を防ぐ まな板の衛生管理

〝食中毒発生〟とニュースになるのは、一度に大量発表する仕出し屋や旅館、学校などですが、その中で意外にも家庭での食中毒が例年多く発生しているのが現状のようです。
家庭での食中毒の原因を大きく分けると、食品中に細菌が増殖していた（つまり古くなっていた）ためと、調理の際に器具やまわりの不衛生な状況から菌が付いたための2点が考えられます。指先などにケガのある人が調理をするときは気をつけなさいと言われるのもこのため。古いものを食べないよう気をつけて新鮮そうな素材を選んでも、まな板の上に菌がたくさんついていたのでは何にもなりません。
そこで、まな板の細菌汚染状況を調べたところ、使用前に比べ使用直後にはかなりの細菌数が増え、特に調理した食品により差があり、生魚や生野菜を切った後は多かったようです。
また、まな板（木製）の洗浄として、水・お湯（給湯水）・熱湯・塩素系漂白剤・台所用除菌スプレーの5種類で行った結果、熱湯（90度前後の湯約1・8ℓをまな板の表面にかける）が最も効果的でした。これは、流すことによる除菌と熱による殺菌の両効果が発揮されたためと考えられます。次いで塩素系漂白剤、台所用除菌スプレーの順。お湯（給湯水）は湯温が45度前後なので殺菌効果は期待できず、水洗いとあまり変わらなかったようです。そこで衛生に保つポイントは、清潔なたわしでこすり熱湯をかけ風通しをよくすることです。

暮らしの切り抜き帳

◇電子ジャーポットのテスト
国民生活センターが最近の人気商品の「電子ジャーポット」の使用性テストを実施した結果、基本性能では各銘柄でかなりの性能差があり、安全面ではポットの転倒で、ほとんどがお湯もれをおこした。
◇〝本物〟保証に認証マーク
本物・グルメ志向に合わせて「地鶏」、「熟成」ハムといった特別な生産や製造方法を表示する食品が増えている中で、農林水産省は、表示にふさわしい製法かどうか検査する公的機関を設け、合格した商品に対し認証するマークを付ける制度を検討する。
◇会員制リゾートクラブに法規制
通産省は過大な会員募集で施設を十分使えなかったり、事業者が倒産しても預託金が戻ってこないといったトラブルが起きているため、会員制のリゾートクラブ事業を法規制し、会員を保護する方針を決めた。内容は会員数や施設規模等の届け出と開示の義務づけや会員募集の規制などで来春から施行予定。また会員制フィットネスクラブも同様に規制を検討する。